



MacBook Pro 15" Retina Display Mid 2015のロジックボードの交換

MacBook Pro 15" Retina Display Mid 2015 のロジックボードを交換します。

作成者: Andrew Optimus Goldheart



はじめに

このガイドを参考してMacBook Pro 15" Retina Display Mid 2015のロジックボードを交換してください。

もしヒートシンクを取り外した後、必ず放熱グリスの除去と再塗布をしてください。その際、[こちら](#)のガイドを参照してください。

ツール:

- MacBook Air 星形ペンタローブネジ用ドライバ (1)
- スパッジャー (1)
- T5トルクスドライバー (1)
- ピンセット (1)
- Arctic Silver ArctiClean (1)
- Arctic Silver 放熱グリス (1)
- Coffee Filters or a lint-free cloth (1)
- Isopropyl Alcohol 70% (1)

部品:

- MacBook Pro 15" Retina (Mid 2015, Integrated Graphics) 2.2 GHz 16 GB RAM Logic Board (1)
- MacBook Pro 15" Retina (Mid 2015, Integrated Graphics) 2.5 GHz 16 GB RAM Logic Board (1)
- MacBook Pro 15" Retina (Mid 2015, Integrated Graphics) 2.8 GHz 16 GB RAM Logic Board (1)
- MacBook Pro 15" Retina (Mid 2015, Dual Graphics) 2.5 GHz Logic Board (1)
- MacBook Pro 15" Retina (Mid 2015, Dual Graphics) 2.8 GHz Logic Board (1)
- MacBook Pro 15" Retina (Late 2013-Mid 2015) Screw Set (1)

手順 1 — 下部ケース



- MacBook Proに固定された下部ケースから次のP5 ペンターブネジを取り外します。
 - 3.1 mm–8本
 - 2.3 mm–2本

手順 2



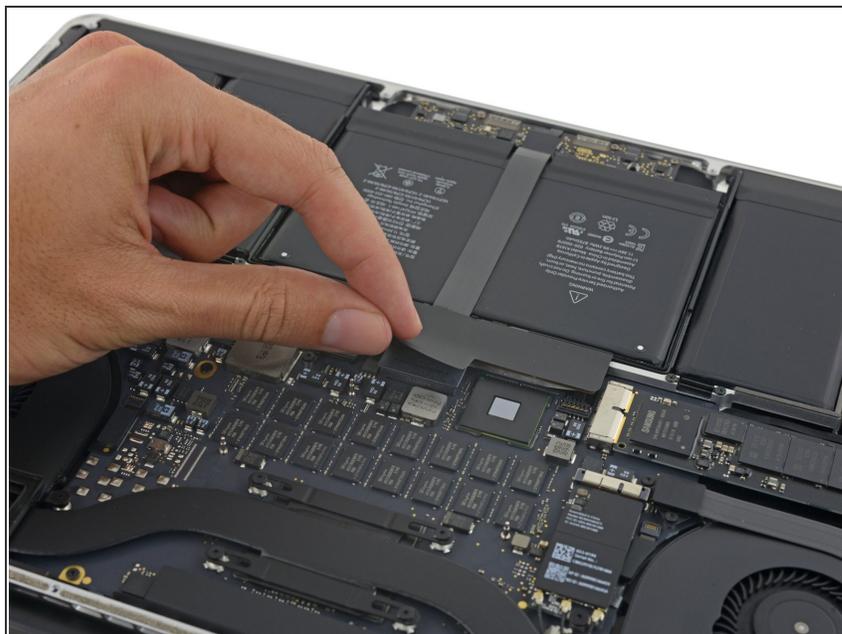
- クラッチカバーに最も近い端から持ち上げて、MacBook Proの底面ケースを持ち上げます。

手順 3



- ① 底面ケースには、上部ケース（オレンジ色）のプラスチッククリップに収まるプラスチック製の2つのペグ（赤色）があります。
- 👉 再組立中に、底面ケースの中心を静かに押し下げて、2つのプラスチッククリップにケースを再び取り付けます。

手順 4 — バッテリーコネクタ



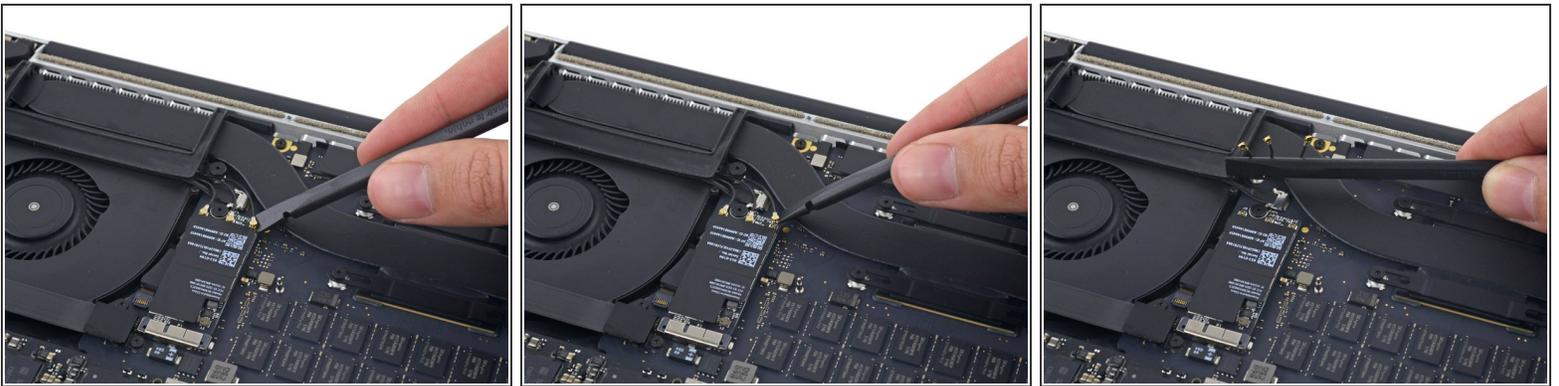
- バッテリーコネクタを覆うステッカーを巻き戻します。

手順 5



- バッテリーコネクターの両側を静かに持ち上げて、コネクターをロジックボード上のソケットから引き出します。
- バッテリーコネクターが誤ってロジックボードに接触しないように、コネクターをバッテリーの方に戻してください。

手順 6 — AirPort/カメラケーブル

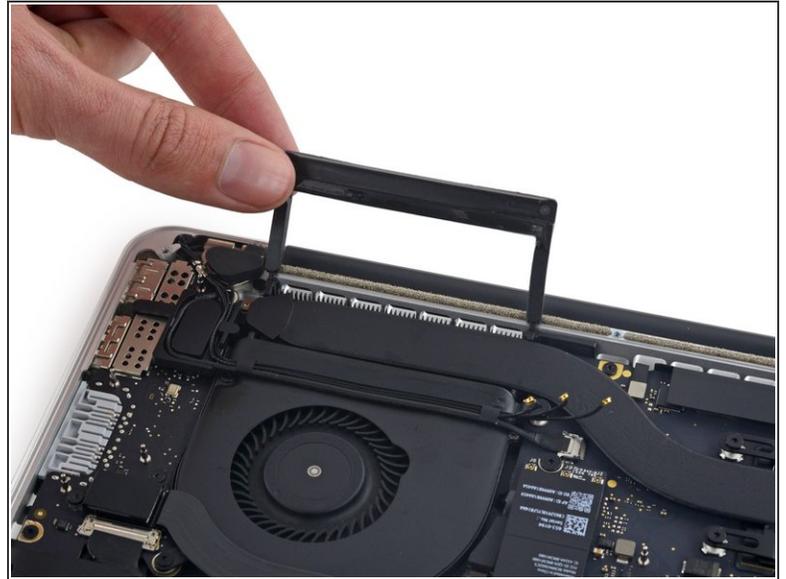
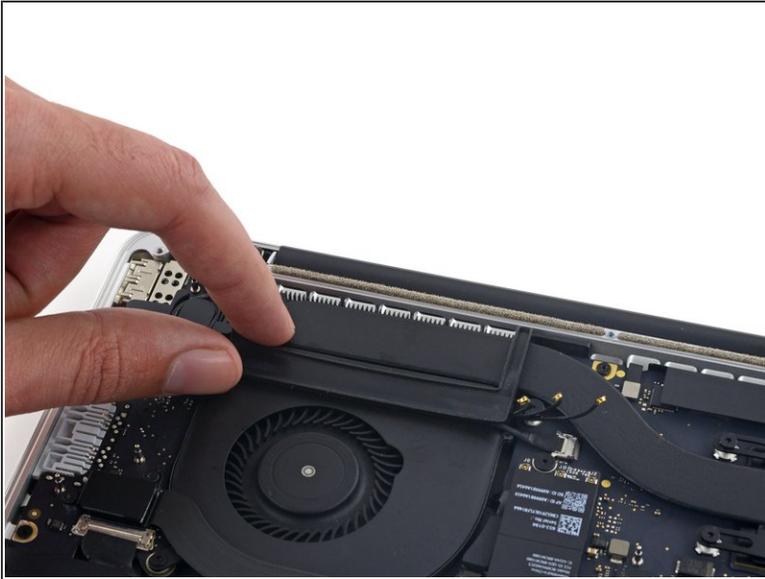


- ピンセットもしくはスパッジャーを使って、AirPortボード上のソケットからAirPortアンテナケーブルの3箇所をこじ開けて外し、作業の邪魔にならないように反対側に折り曲げます。

⚠ ケーブルの接続部分は大変デリケートです。コネクタのみを持ち上げてください。ソケットやケーブルには接触しないようご注意ください。

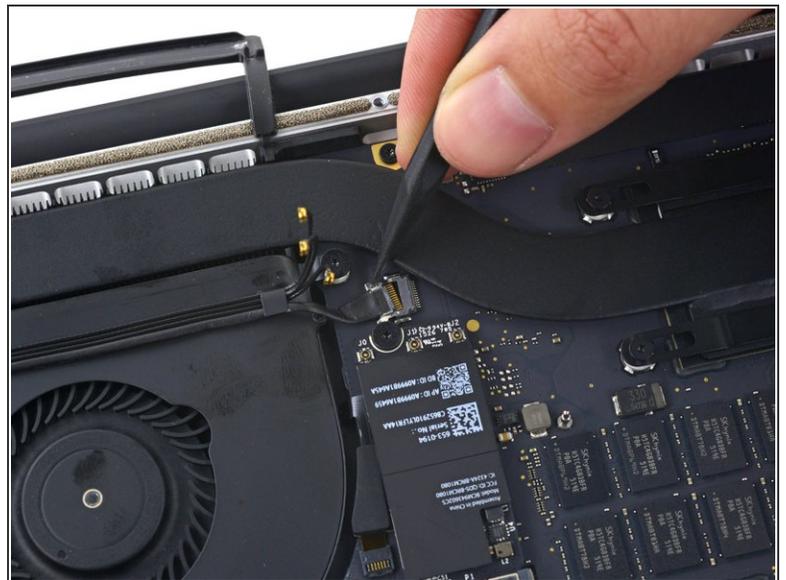
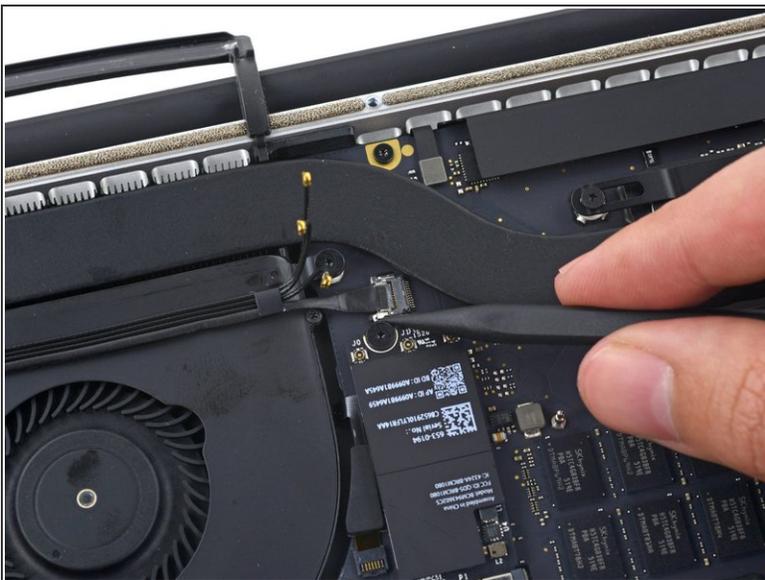
- 再接続の際は、コネクタをソケット上の位置に揃えて、スパッジャーの平面側を使ってしっかりと押さえ込んで装着します。

手順 7



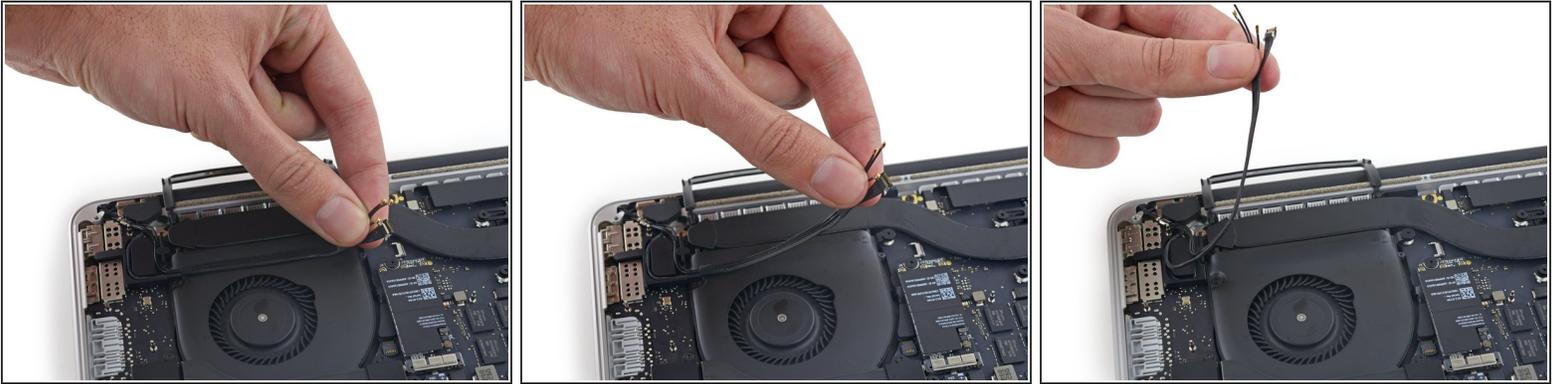
- 右側のゴム製カバーをファンから引き上げて、反対側に折り曲げます。

手順 8



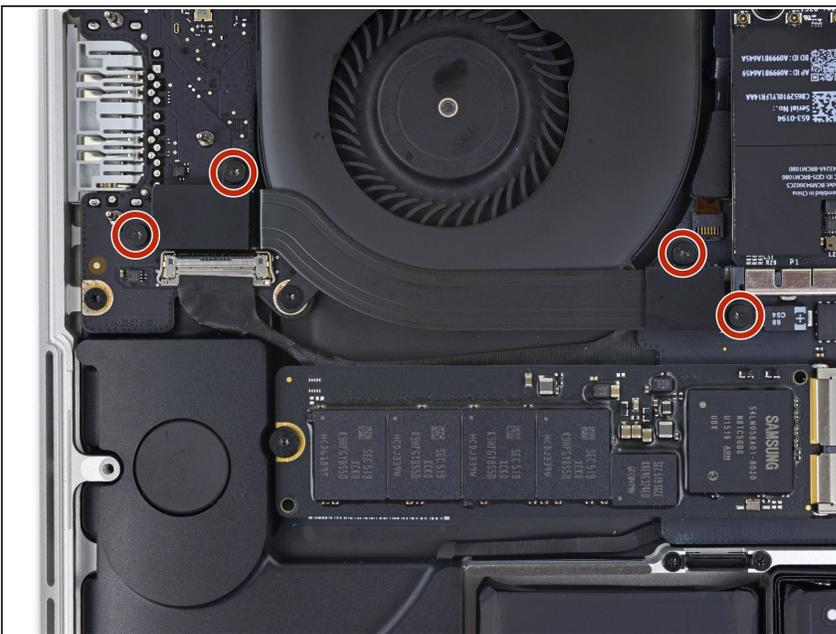
- スパッツァーの先端を使って、カメラケーブルコネクタを基板上のソケットから押して接続を外します。
- ① 基板に対して平行になるようにこじ開けます。一方の角を押したらソケットからその反対側のコネクタを”ずらします”。

手順 9



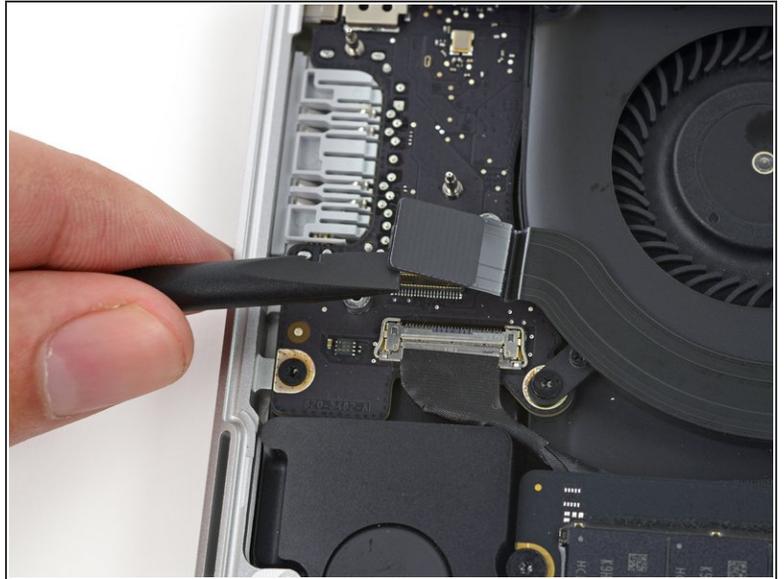
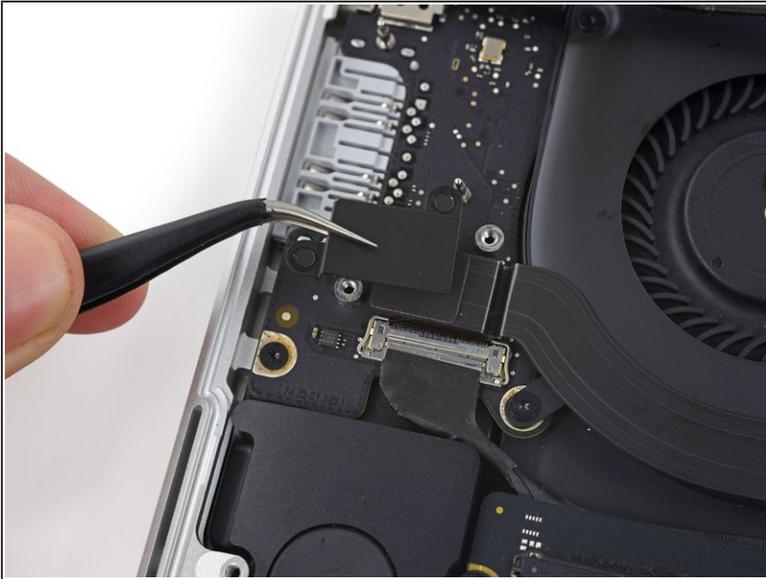
- 指を使ってAirPort/カメラケーブルをファンから引っ張ります。
- ① ケーブルはファンに接着剤で固定されています。そのため、ダメージを与えないように、引っ張る際は丁寧に作業を進めてください。
- ゆっくりとプラスチックのケーブルガイドからケーブルを巻き戻します。
- ☑ 再組み立ての際は、ファンにケーブルを装着するため十分な接着剤が必要です。

手順 10 — I/O ボードケーブル(上部)



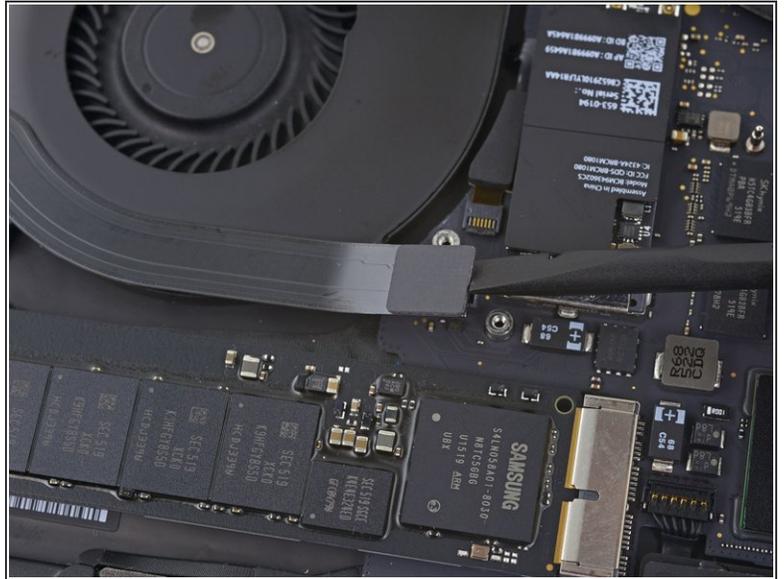
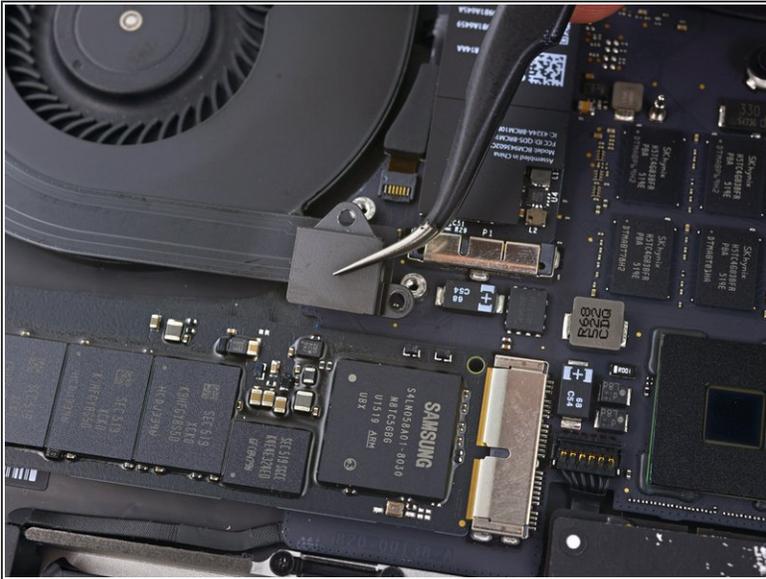
- I/Oボードケーブルのコンネクターカバーを固定している2.2 mm T5トルクスネジを4本外します。

手順 11



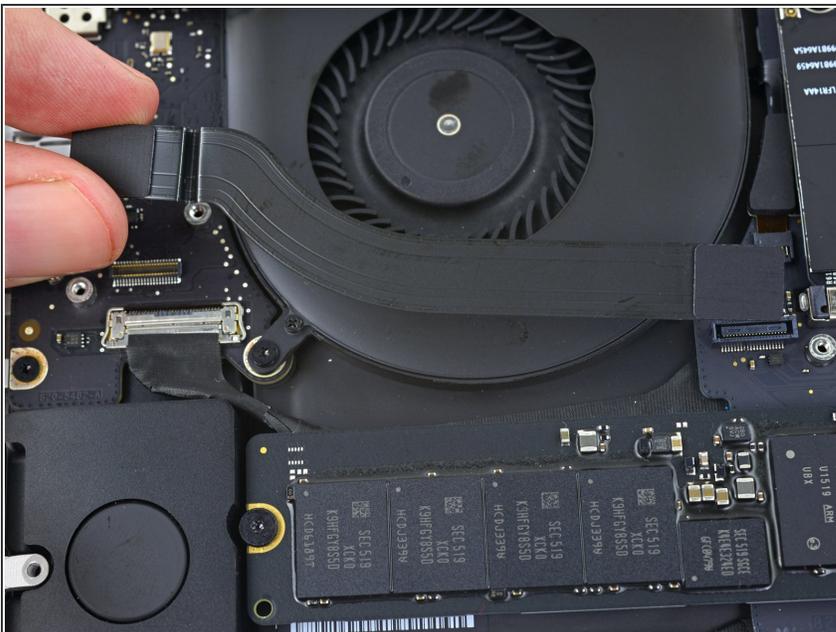
- 左側のコネクタカバーを取り出します。
- スパッツァーの平面側先端を使って、基板上のソケットからI/Oボードケーブルの左側先端を持ち上げます。

手順 12



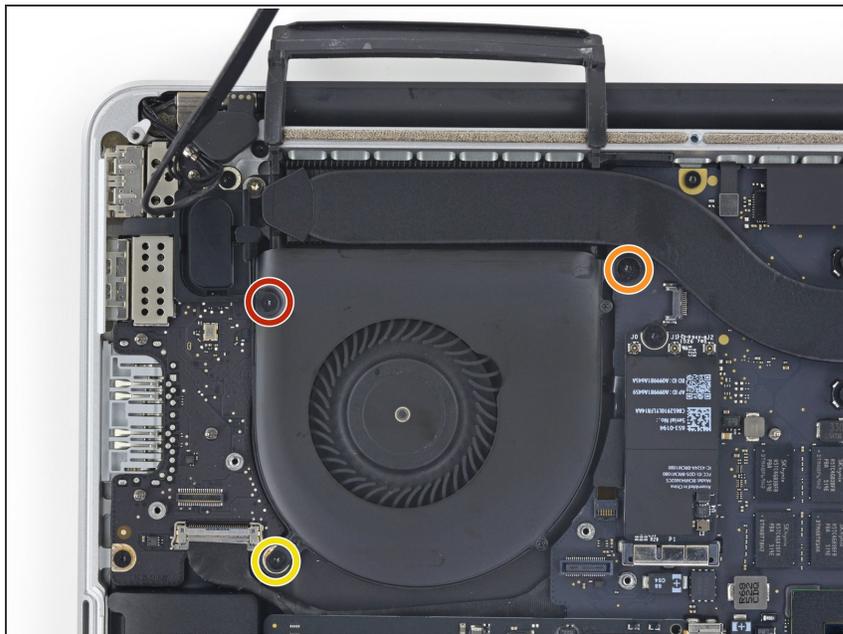
- 右側のコネクタカバーを取り出します。
- スパッツァーの平面側先端を使って、基板上のソケットから I/O ボードケーブルの右側先端をこじ開けます。

手順 13



- ファンに固定されている接着剤から上部 I/O ボードケーブルを剥がして取り出します。
- ケーブルを取り出します。

手順 14 — 右側ファン



- 基板に右側ファンを取り付けている次のネジを外します。
- 5.0 mm T5トルクスネジ1本 (2.0mm肩付き)
- 4.0 mm ネジ1本
- 4.4 mm —1本

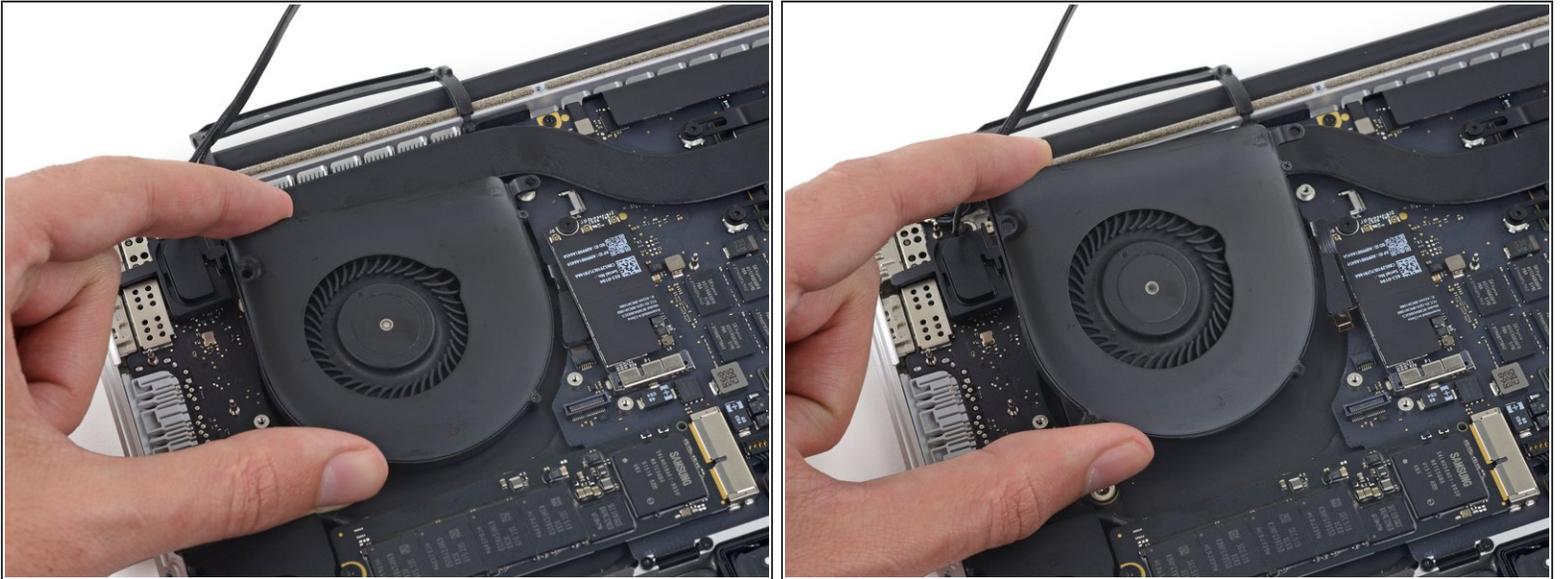
手順 15



- スパッツァーの先端を使って、右側ファンリボンケーブルのZIFソケット上にある固定フラップを裏返します。

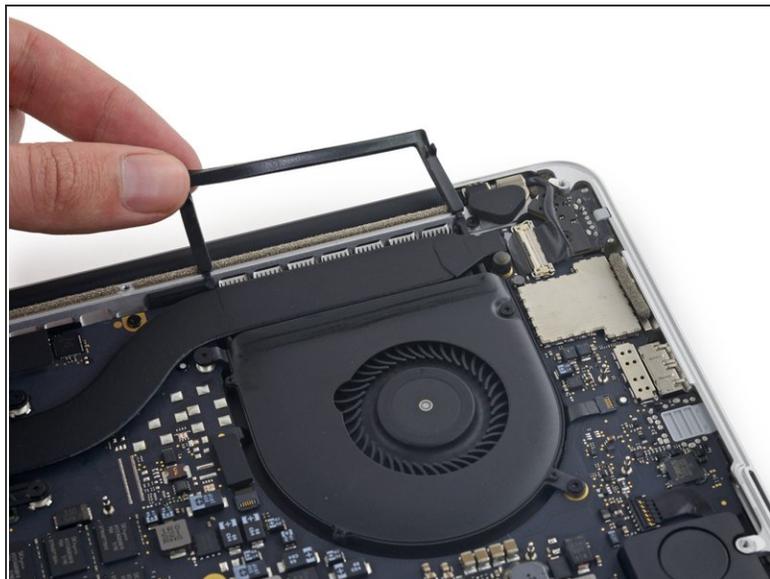
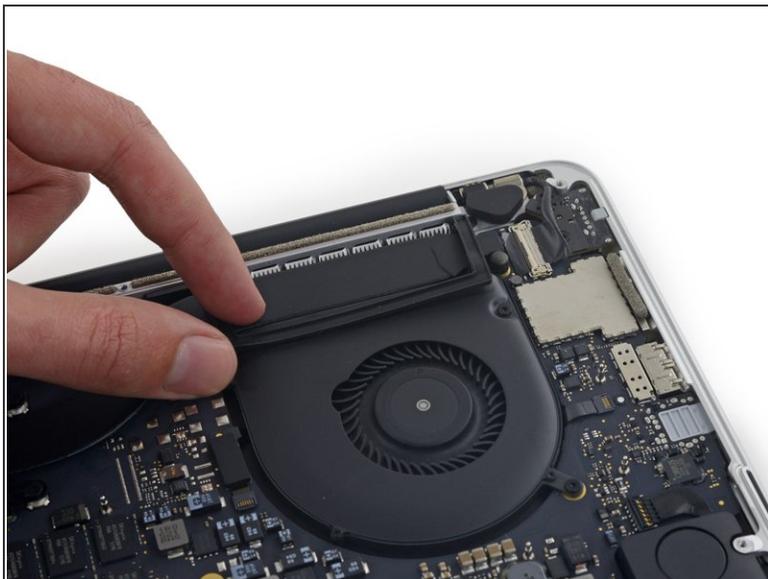
⚠ 蝶番の固定フラップのみ接触してください。ソケット自体には触らないでください。

手順 16



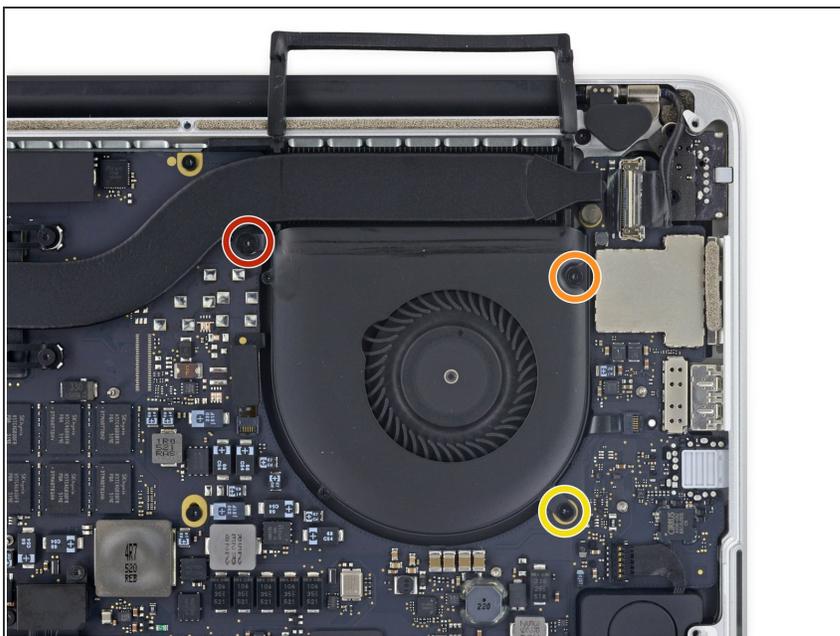
- ファンを持ち上げて、ソケットからファンケーブルを解放するため、ゆっくりとMacBookの後ろ側端に向けて押し出します。
- ⚠️ ファンケーブルは基板に接着されていることがあります。ケーブルを裂かないようにするためには、ファンを持ち上げながら丁寧に剥がしてください。
- ファンを取り出します。

手順 17 — 左側ファン



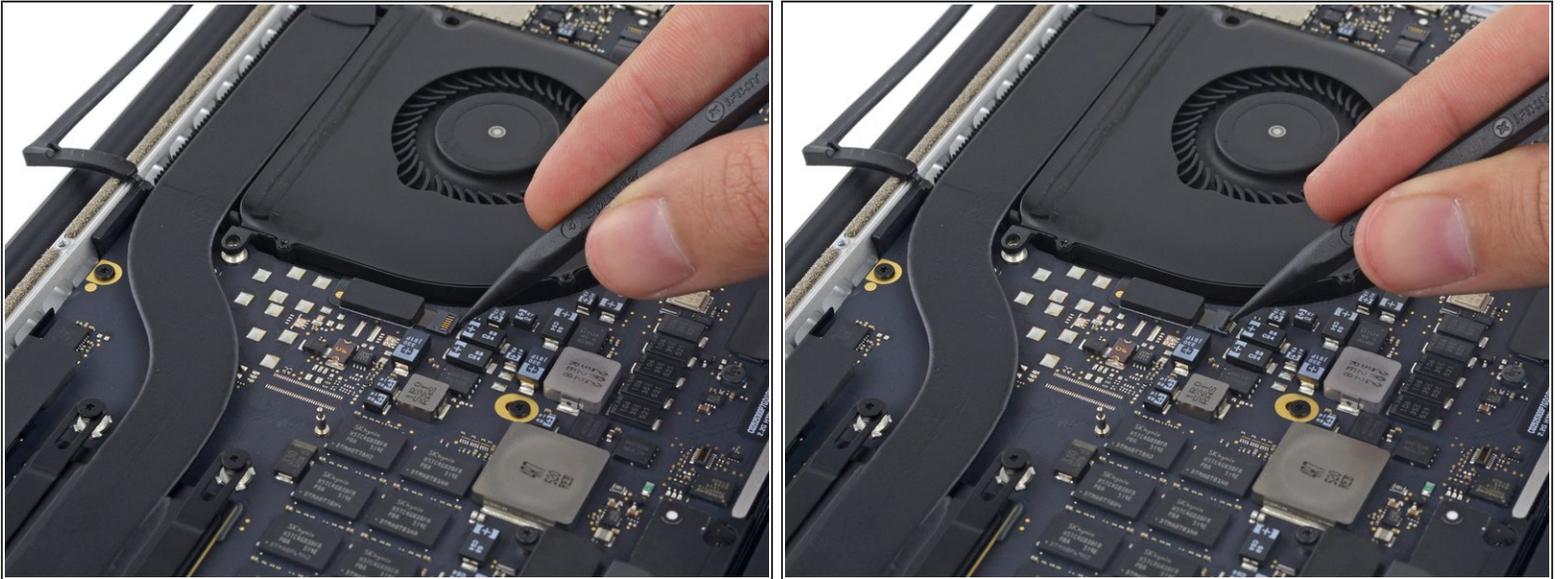
- ファンから左側のゴム製カバーを剥がして反対側に折り曲げます。

手順 18



- 基板に左側ファンを固定している次のネジを外します。
 - 3.6 mm T5トルクスネジ—1本
 - 5.0 mm T5トルクスネジ—1本
 - 4.4 mm T5トルクスネジ—1本

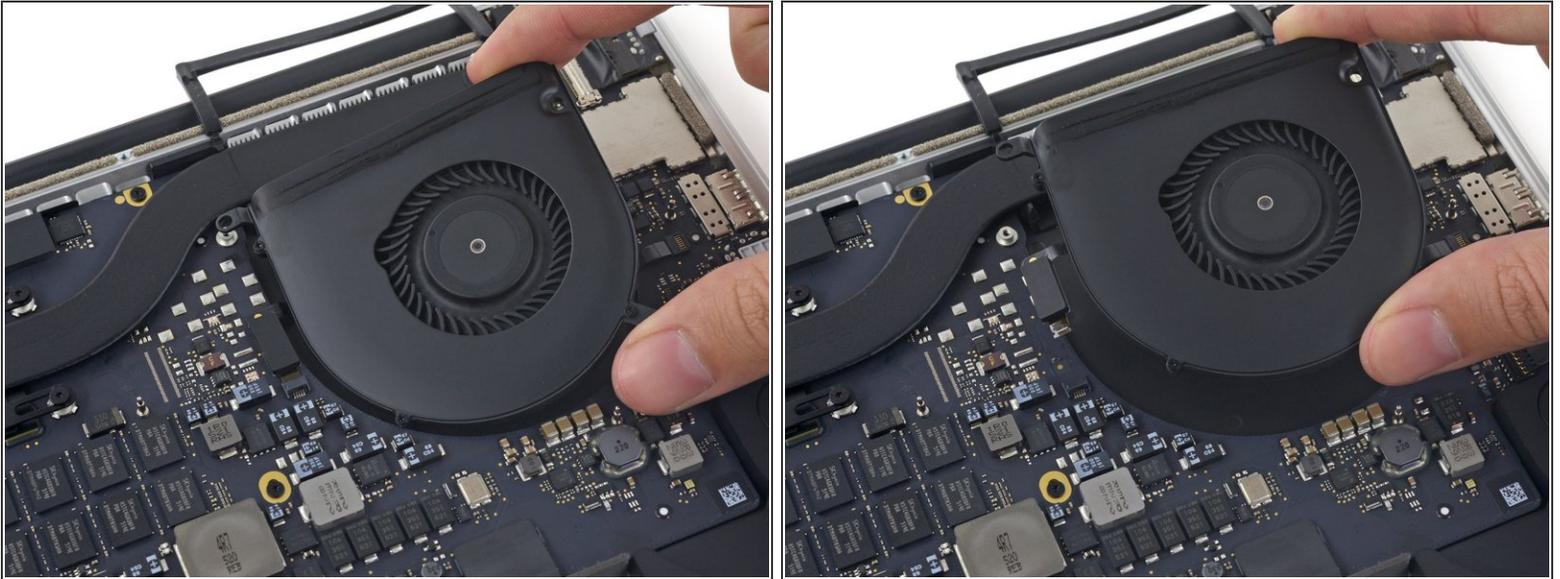
手順 19



- スパッツァーの先端を使って、左側ファンケーブルのZIFソケット上の固定フラップを裏返します。

⚠ 蝶番の固定フラップのみこじ開けてください。ソケット自体には接触しないでください。

手順 20

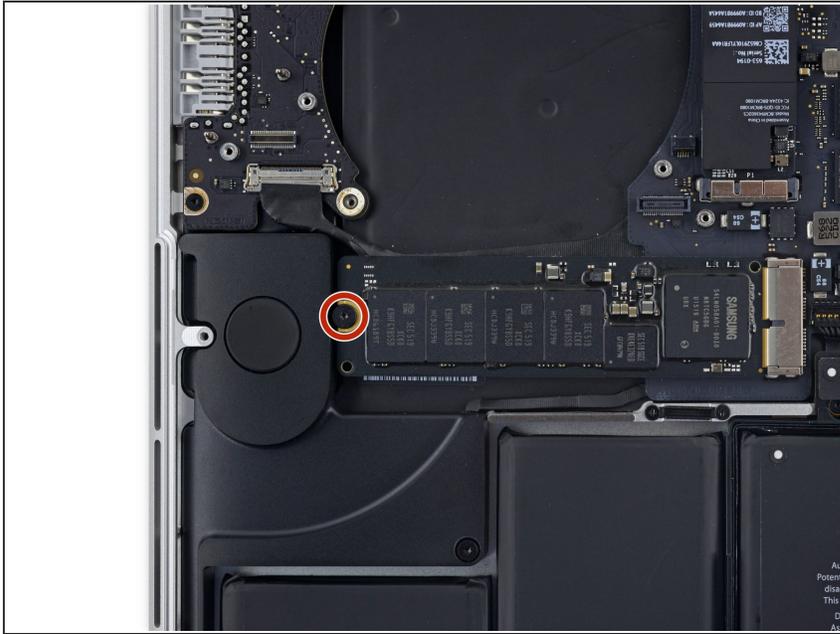


- ファンを持ち上げて、ソケットからファンケーブルを解放するためにMacBookの後ろ側端に向けて押し出します。

⚠️ ファンケーブルは基板に接着剤で固定されています。ケーブルを切断しないようにファンを持ち上げながら取り出してください。

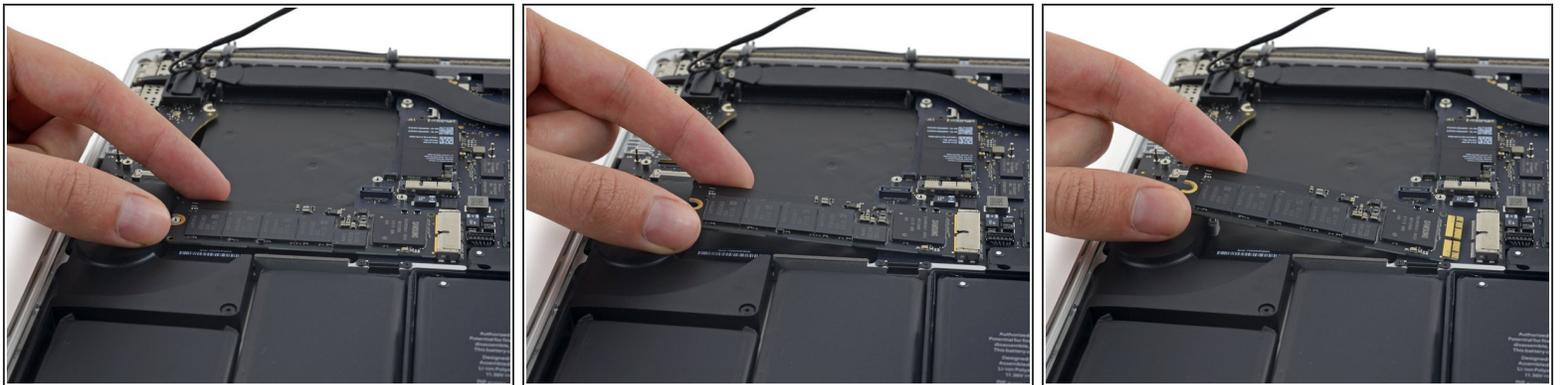
- ファンを取り出します。

手順 21 — SSD



- 基板にSSDを固定している2.9 mm T5トルクスネジを1本外します。

手順 22



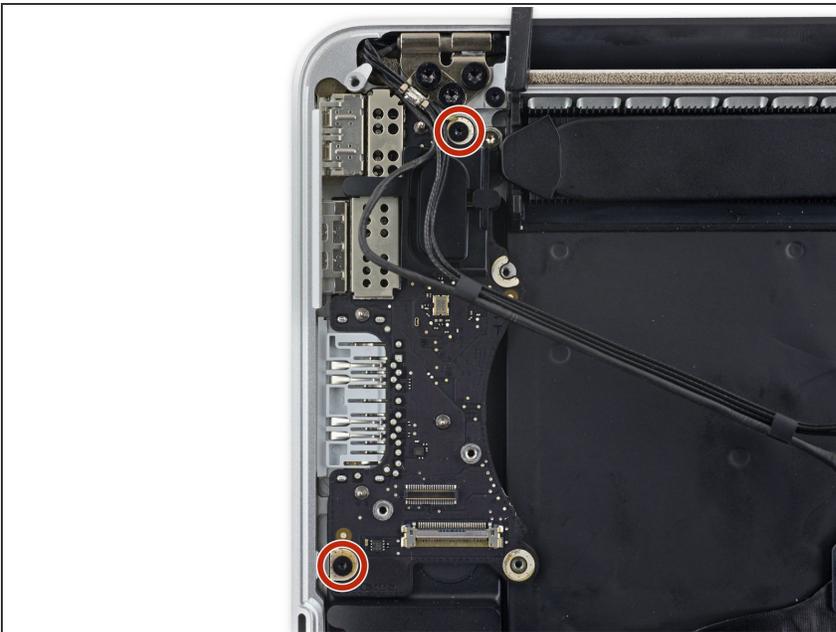
- 裏側にあるスピーカーに手が届くようにSSDの先端を持ち上げます。
⚠ SSDを高く持ち上げないでください。ソケットや接続部分にダメージを与えてしまいます。
- 基板上のソケットからSSDをまっすぐ引き出します。

手順 23



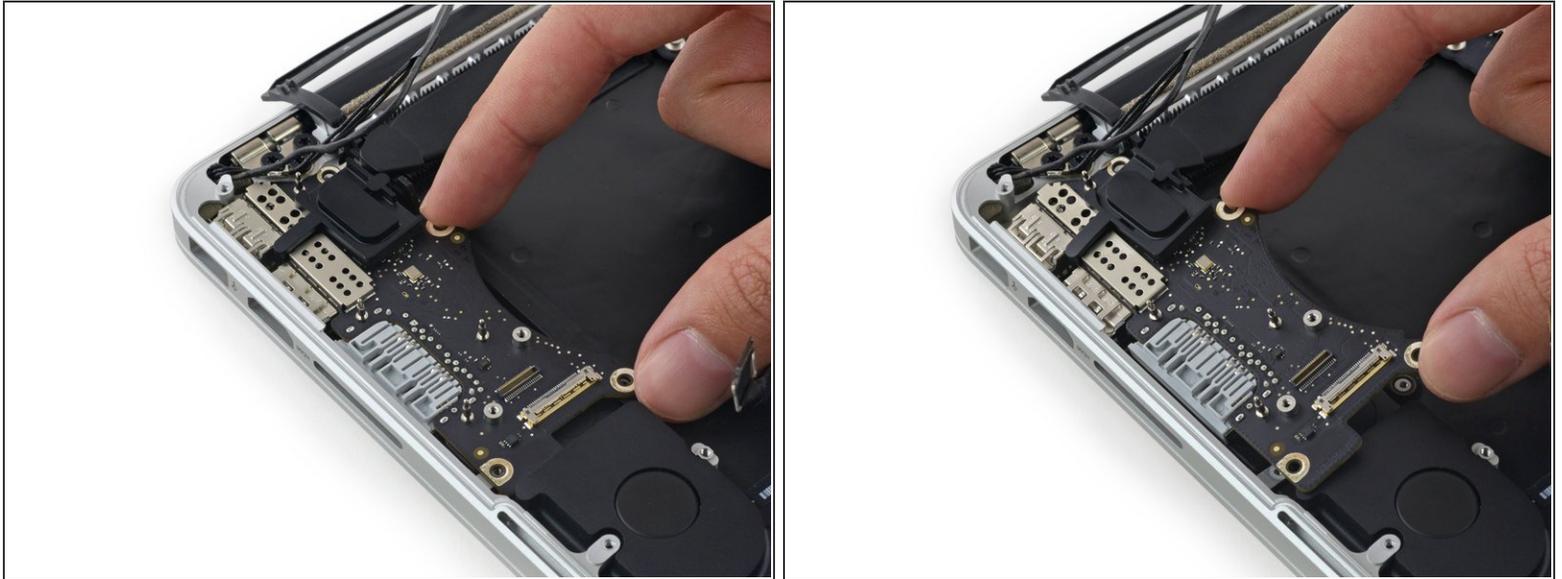
- スパッツァーの先端を使ってI/Oボードのコネクター上のロック機能を持ち上げます。
 - スパッツァーでこれを反対側に裏返して、スパッツァーの平面側先端を使ってコネクターからI/Oケーブルをスライドします。
- i** コネクターからI/Oケーブルをスライドする簡単な方法は、外れたロック部分を押し込むことです。この作業によって、アクシデントでケーブルやコネクターの接続部分に与えるダメージを防ぐことができます。

手順 24



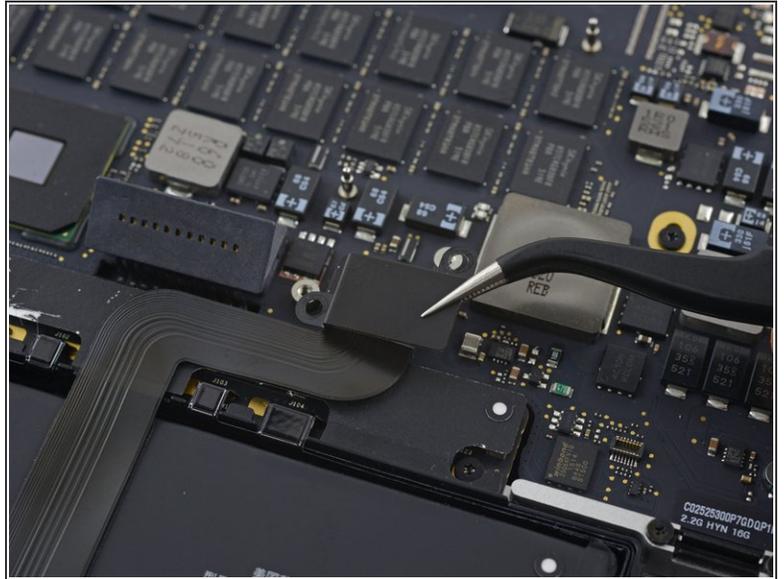
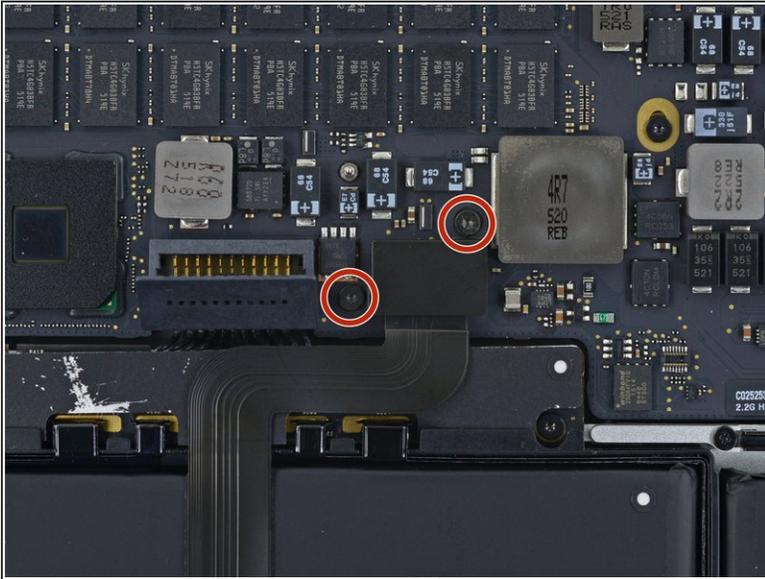
- I/Oボードから3.1 mm T5トルクスネジを2本外します。

手順 25



- ゆっくりとI/Oボードの内側の先端を持ち上げて、MacBookの中央側に向けて引っ張り、ケースから解放します。
- I/Oボードを取り出します。

手順 26 — 基板



- 基板にtouchpadケーブルコネクタを固定している2.2 mm Torx T5トルクスネジを2本外します。
- カバーを取り出します。

手順 27



- スパッジャーの平面側先端を使って、基板中のソケットからtouchpadケーブルコネクタの接続を外します。
- ⓘ スパッジャーの平面側先端をわずかにひねるとケーブルコネクタはこのタイプのソケットから簡単に外すことができます。

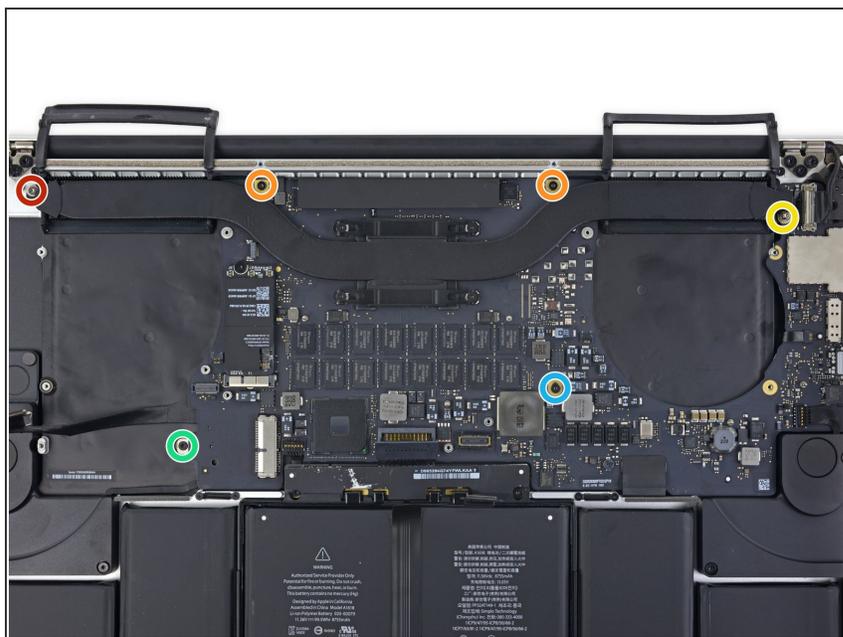
⚠ コネクタのみに接触してください。基板のソケットには触らないでください。

手順 28



- 小さなゴム製キャップをヒートシンクの先端にあるネジから外します。

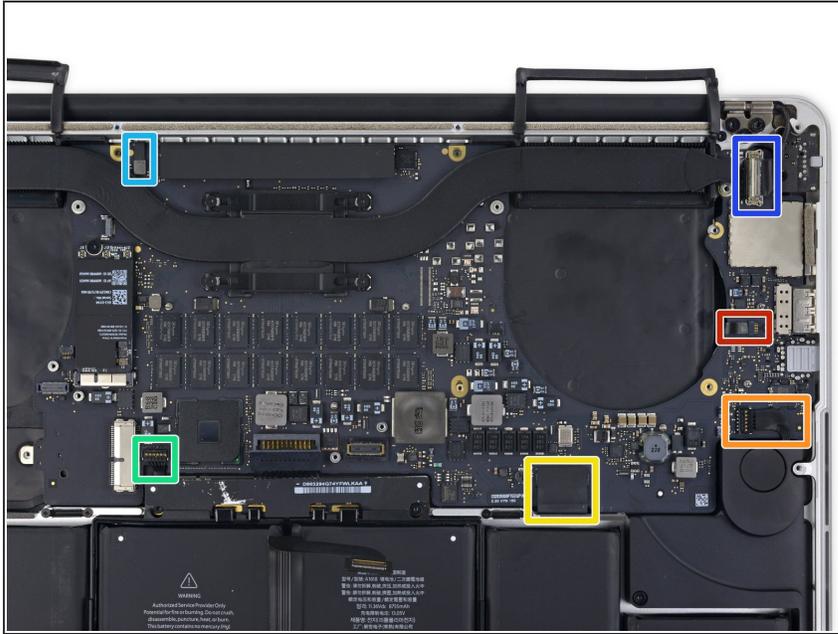
手順 29



- 基板アセンブリを上部ケースに固定している次の6本のネジを取り外します。
 - 3.8 mm T5トルクスネジ1本
 - 5.7 mm T5トルクスネジ2本
 - 5.6 mm T5トルクスネジ1本(このネジはシルバーで他のネジに比べると若干高くなっています。)
 - 2.6 mm T5トルクスネジ1本
 - 3.2 mm T5トルクスネジ1本

- ★ 再組み立ての際は、6本のネジを取り付けますが完全に締めないでください。基板が少し動くほどまで残しておきます。上部ケース端にあるポート用端子がきちんと装着してネジが正しい位置に装着されているのを確認できたら、ネジをきつく締めてください。

手順 30

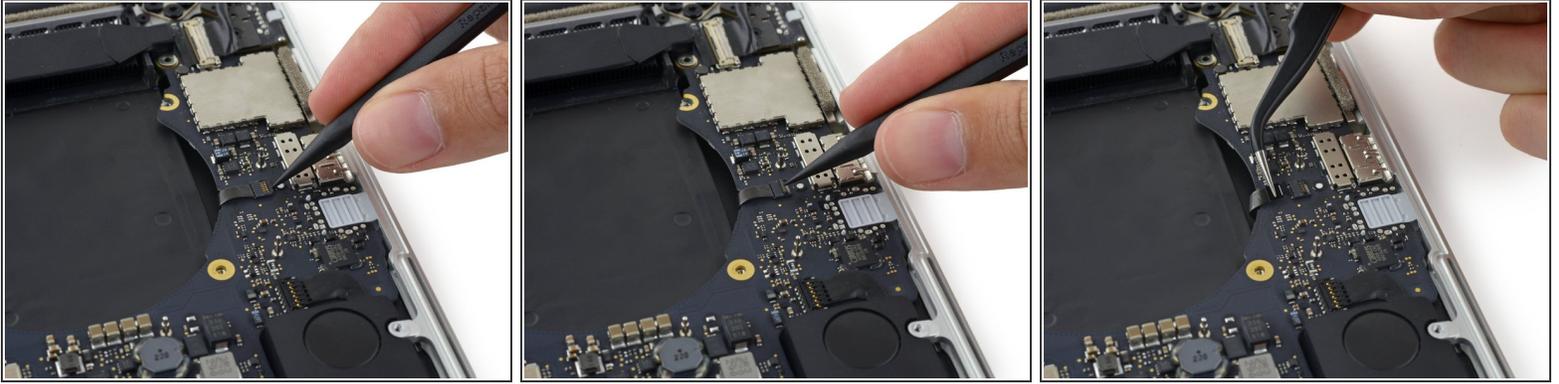


- 次の手順では下の6つのコネクタの接続を外します。各手順をしっかりと読んでから作業に移ってください。これらのコネクタのタイプは様々で、外し方も異なります。

- マイクケーブル
- 左側スピーカーケーブル
- キーボードデータケーブル
- 右側スピーカーケーブル
- キーボード用バックライトケーブル
- ディスプレイデータケーブル

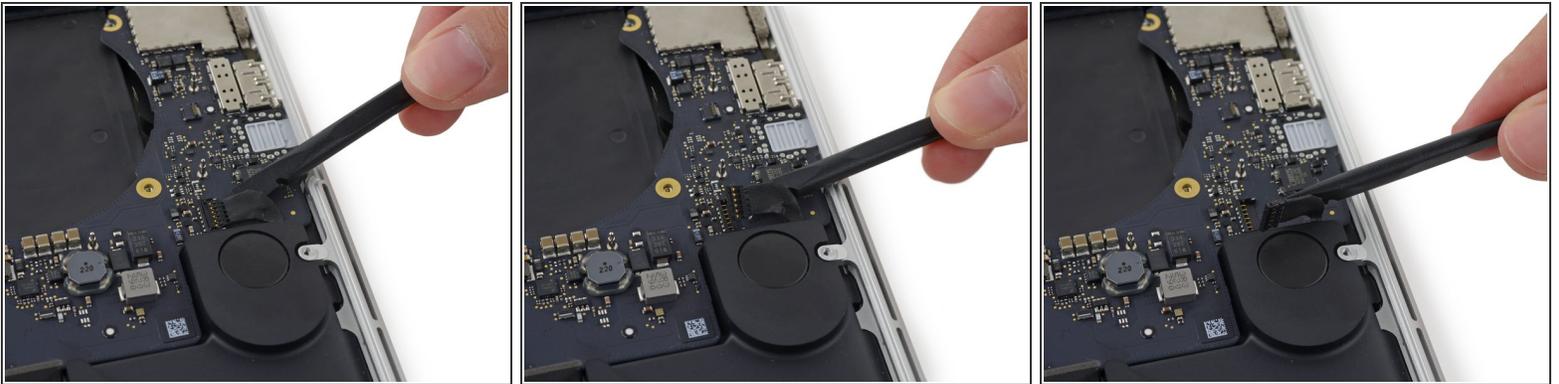
- ☑ 再組み立ての際は、これらのコネクタが全て接続されているか、ソケットにしっかりと装着されているか確認してください。

手順 31



- スパッツァーの先端を使ってマイクリボンケーブルのZIFソケット上の固定フラップを裏返します。
- ソケットからマイクリボンケーブルを基板と並行に引っ張ります。

手順 32

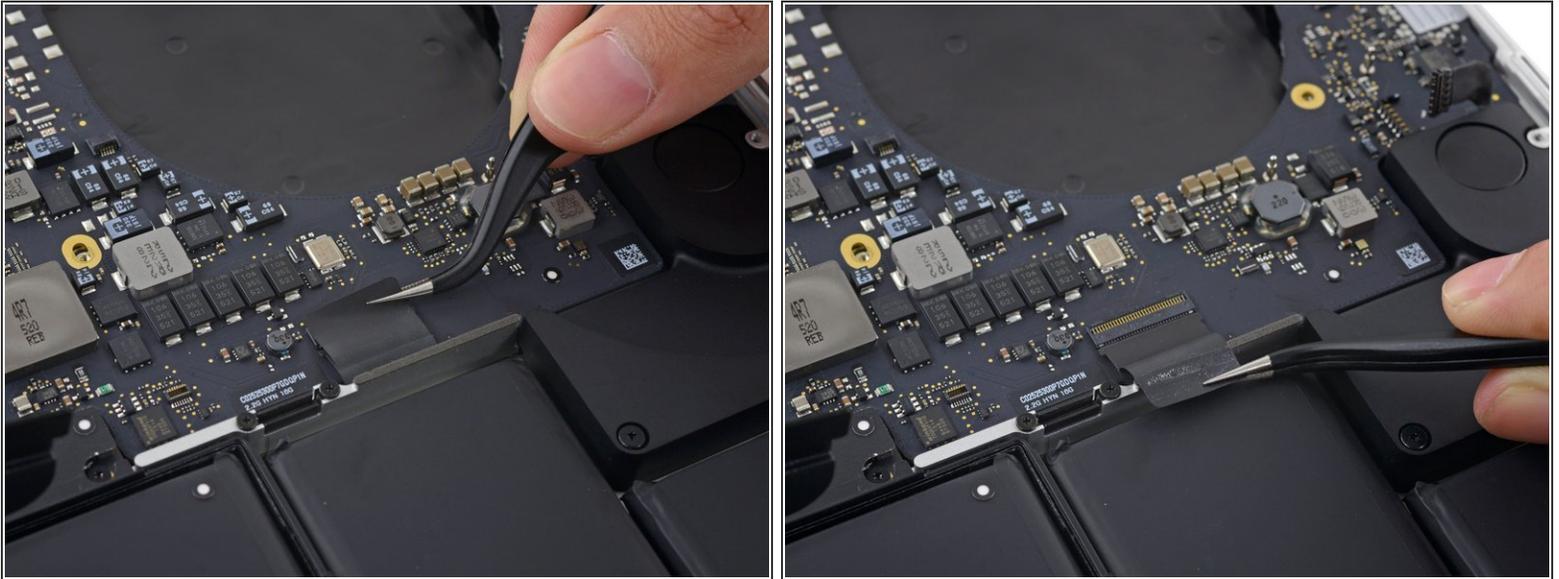


- スパッツァーの平面側先端を使って、左側スピーカーのコネクタを持ち上げて、基板上のソケットから接続を外します。

⚠ ケーブルコネクタをこじ開けてください。基板上のソケットには接触しないでください。基板からソケットをこじ開けてしまうと永久的なダメージにつながります。

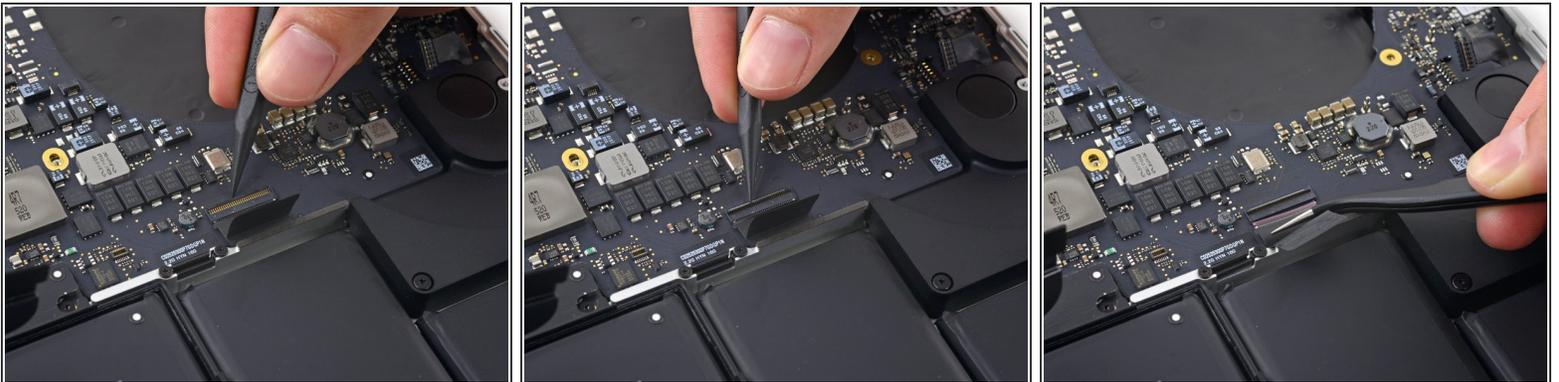
- ケーブルをゆっくりと折り曲げて、基板から離します。

手順 33



- キーボードデータケーブルコネクタの上部を覆っているカバーを外します。

手順 34



- スパッツァーの先端を使って、キーボードデータケーブルZIFソケット上の固定フラップを持ち上げます。
⚠ 蝶番のついた固定フラップを持ち上げてください。ソケットには接触しないでください。
- キーボードデータケーブルをZIFソケットから引っ張り、基板と並行に折り曲げます。まっすぐ上向きに引っ張らないでください。

手順 35



- スパッツァーの先端を使って、右側のスピーカーコネクタをこじ開けて、基板上のソケットから接続を外します。

⚠ ケーブルコネクタのみこじ開けてください。基板上のソケットには接触しないでください。ソケットをこじ開けてしまい、基板から外してしまうとダメージに繋がります。

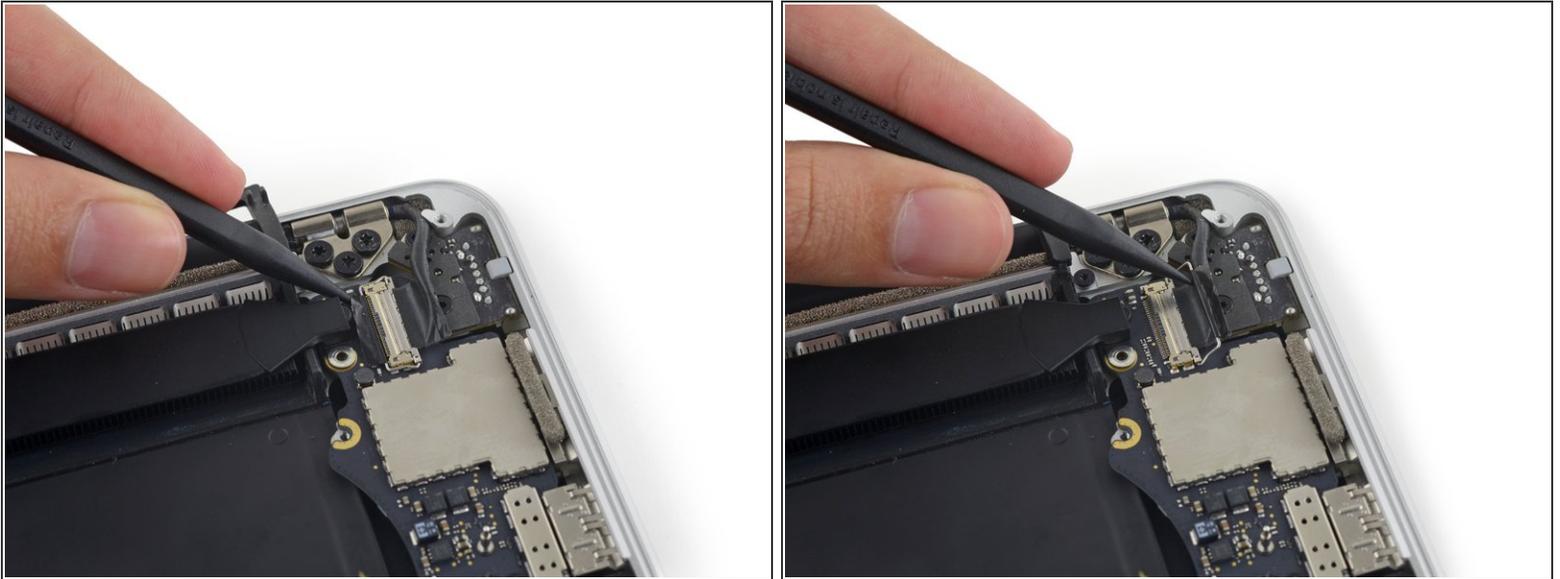
- ケーブルを基板から邪魔にならない位置に丁寧に折り曲げます。

手順 36



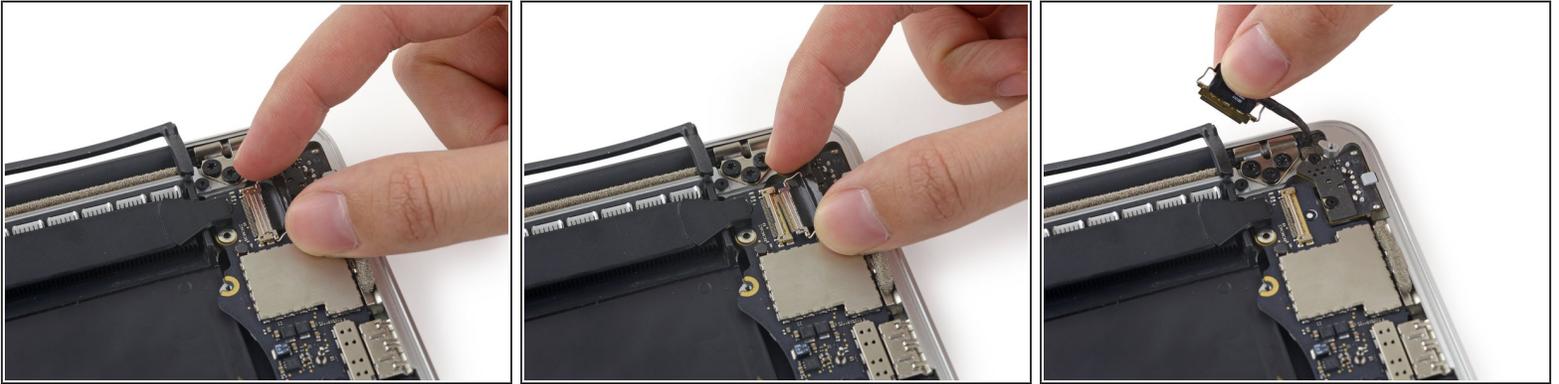
- スパッツァーの先端を使って、キーボードのバックライトコネクタを基板上のソケットから接続を外します。

手順 37



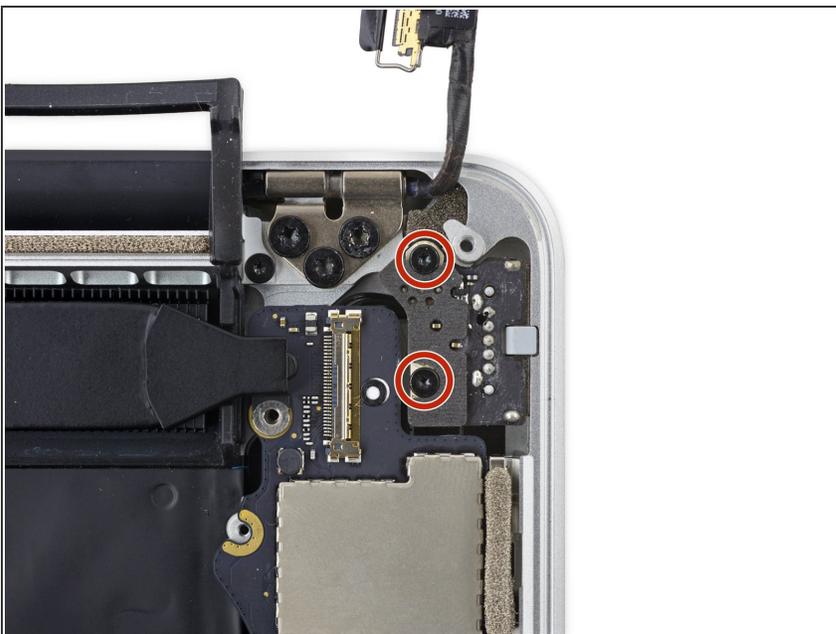
- スパッジャーの先端を使って、ディスプレイデータのケーブルロックの接続を持ち上げて、MagSafe 2ポート側に折り曲げます。

手順 38



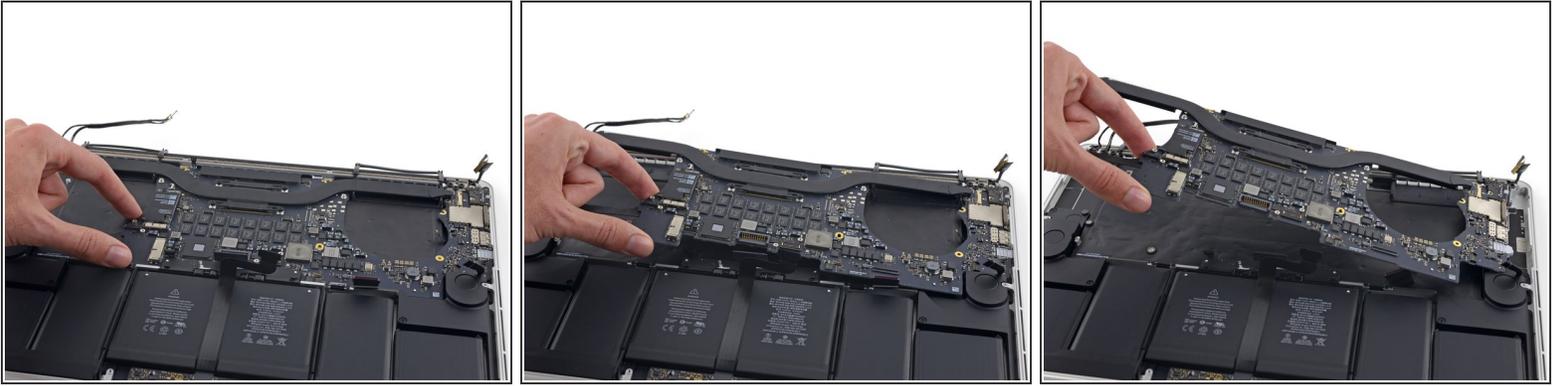
- ディスプレイデータケーブルをまっすぐ基板上のソケットから持ち上げます。
 - ⚠ ソケットは大変デリケートです。ディスプレイデータケーブルを高く上向きに引っ張らないでください。ケーブルを基板と並行に引っ張ります。
 - ⚠ データコネクタやソケット上のコネクタを指やツールで接触しないでください。油脂が付着してしまうとピンにダメージを与えることがあります。
- ディスプレイの蝶番側に向けてディスプレイデータケーブルを丁寧に折り曲げます。MagSafe 2 ボード上のネジが触れるようにします。

手順 39



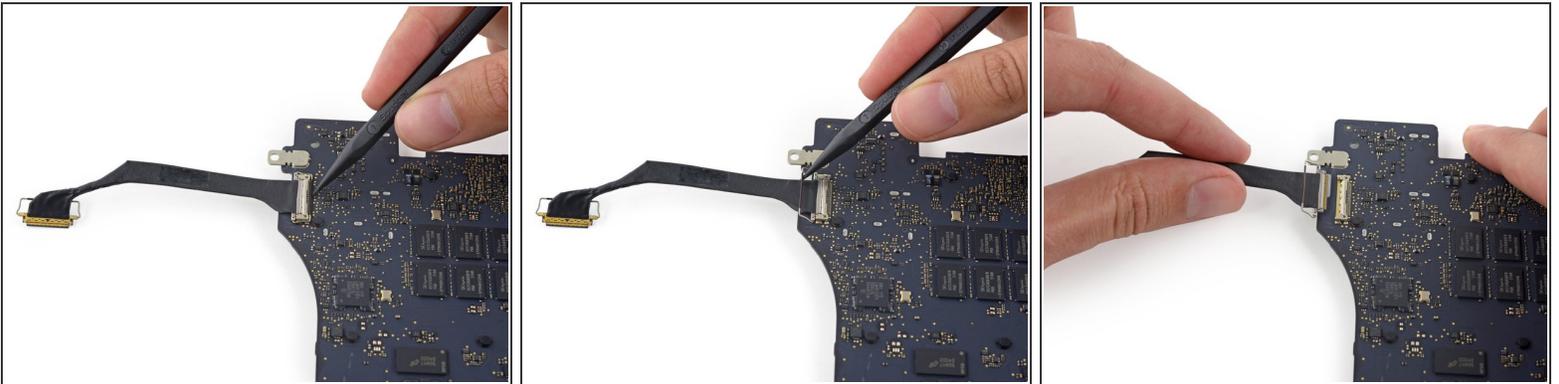
- MagSafe 2ボードから4.0 mm T5トルクスネジを2本外します。

手順 40



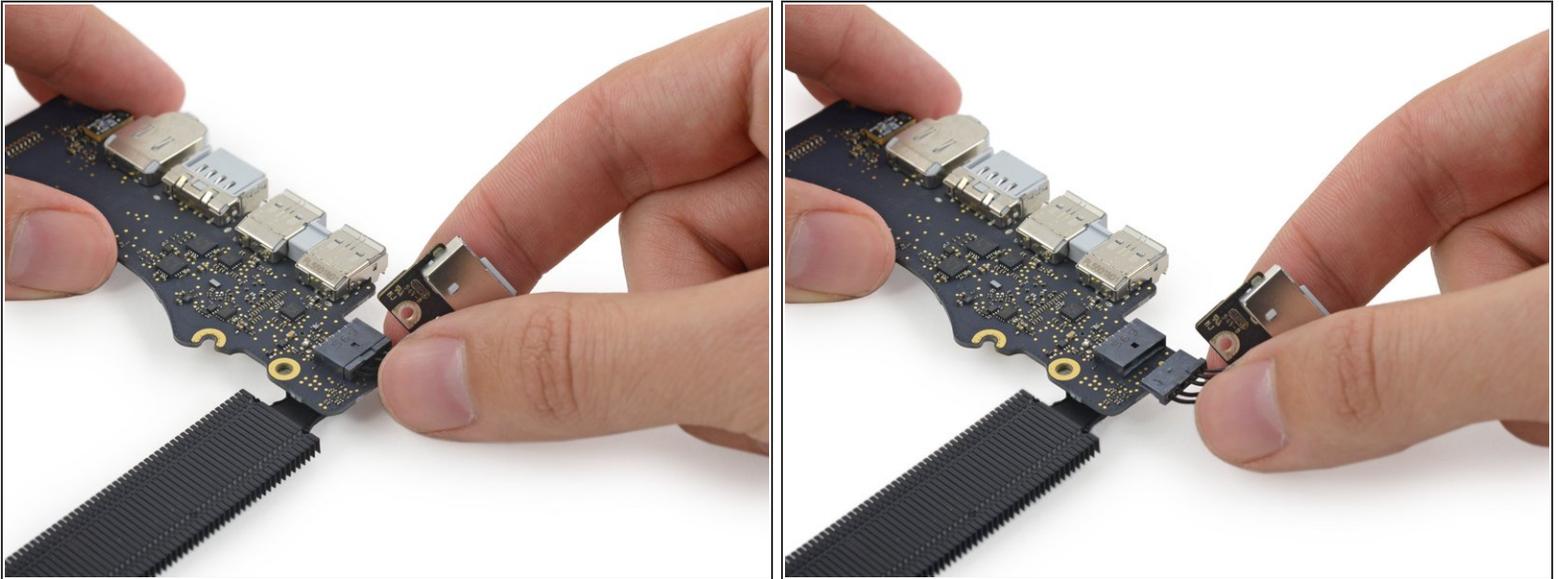
- 上部ケースから基板アセンブリ全体を持ちあげて取り出します。
- ☑ 再組み立ての際は、端子が上部ケースのカットアウトと揃っているか確認してください。

手順 41 — ロジックボード



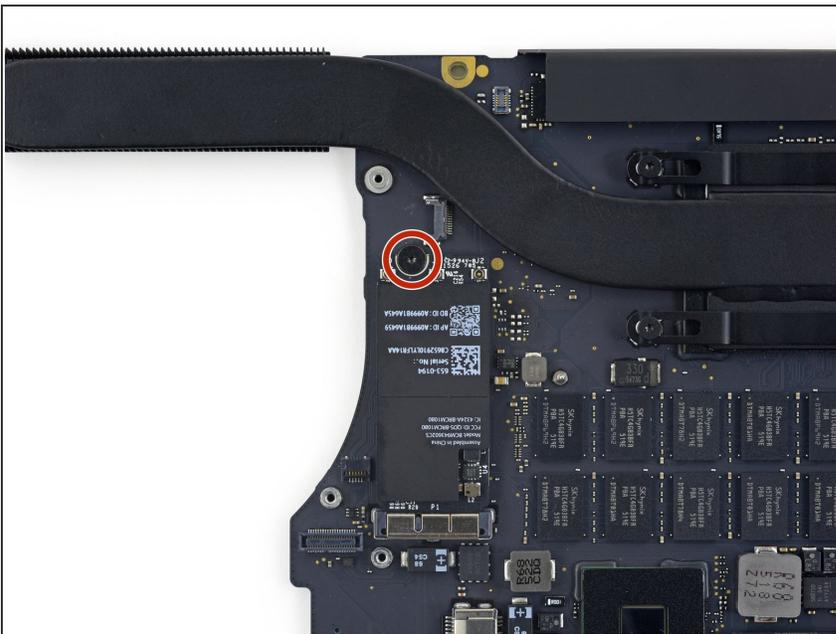
- スパッツァーの先端を使って、HDMIデータトランスポートケーブルのメタル製固定フラップを押し上げてください。
 - 基板上にあるソケットからHDMIデータトランスポートケーブルを丁寧に引き上げて接続を外します。
- ⚠ ディスプレイデータケーブルと同様に、基板の表面と平行しているソケットからコネクタを引き抜いてください。コネクタを持ち上げないでください。コネクタに接触しないでください。**

手順 42



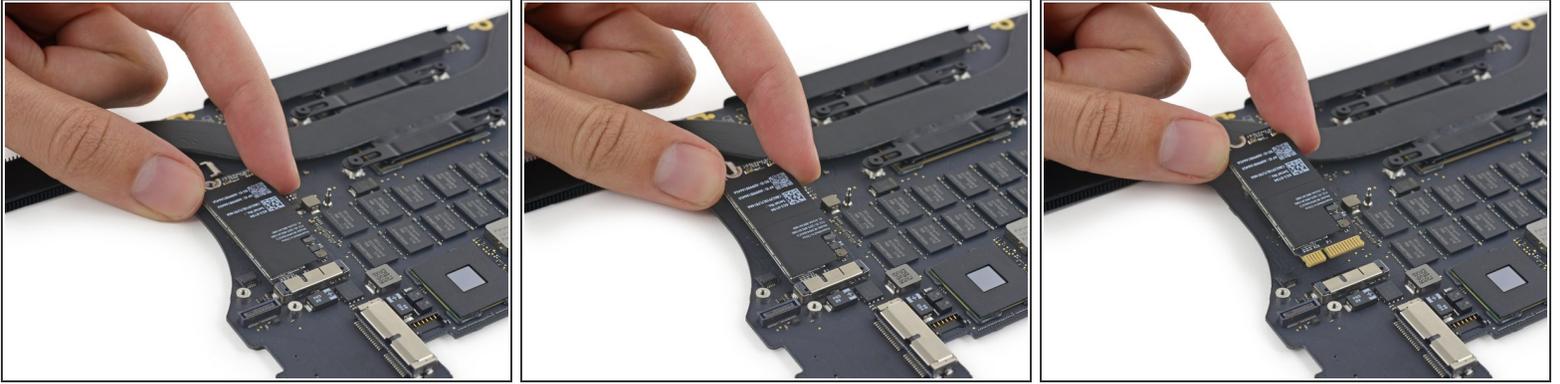
- MagSafe2コネクタを (ロジックボードと平行している)ソケットからまっすぐ引き抜きます。

手順 43



- このAirPort ボードと基板を固定している2.9mm T5 トルクスネジを 1 本取り外します。

手順 44

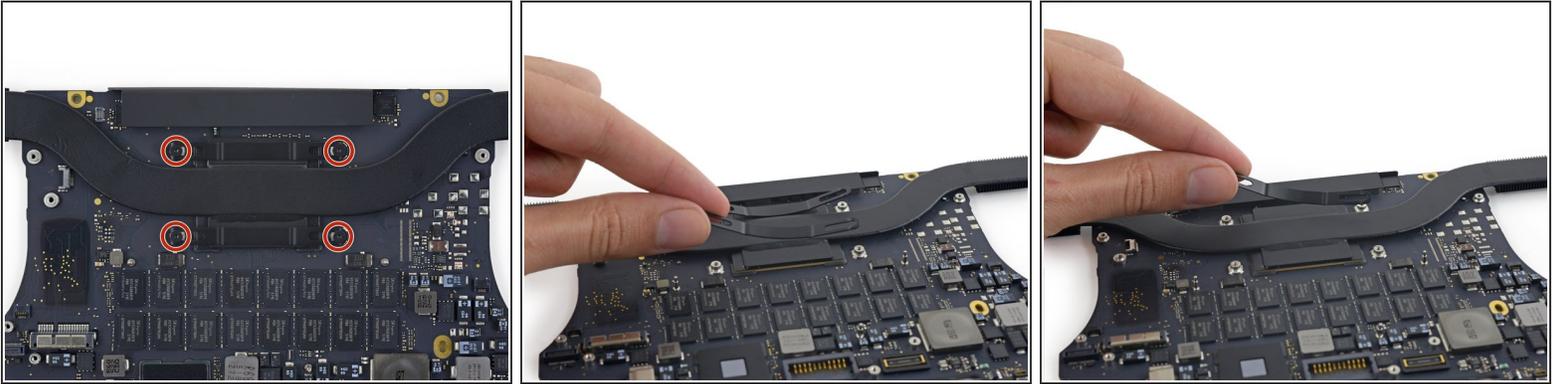


- AirPortボードの先端を、すぐ後ろにあるヒートシンクが通れるほどの高さに持ち上げてください。

⚠ AirPortボードを上げ過ぎないように注意してください。コネクタやソケットにダメージを与えてしまいます。

- ストレートにAirPortボードを基板上のソケットからまっすぐ引き出します。
- ⓘ AirPortボード下にはわずかに粘着性サーマルパッドが付いています。基板を再装着する際は、必ずこのサーマルパッドも再装着してください。

手順 45

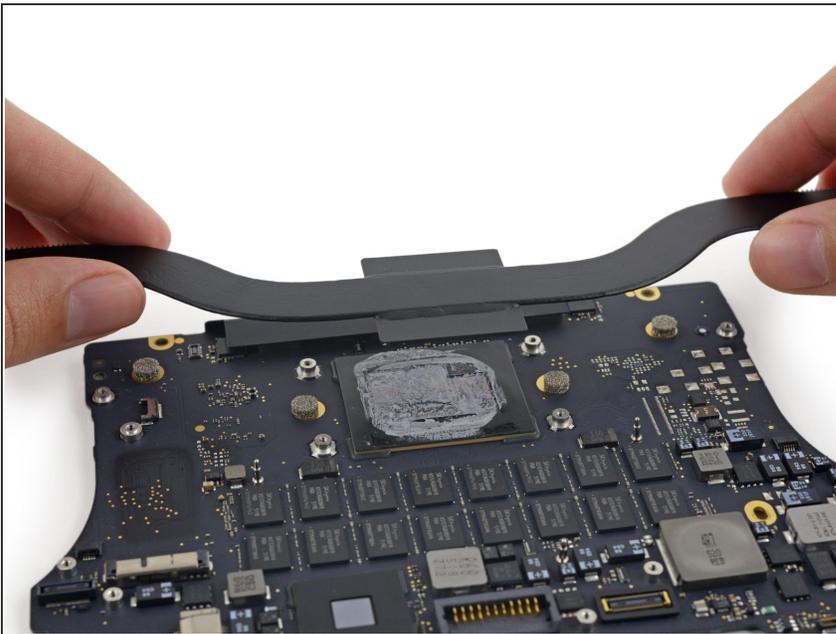


- 3.4mm T5 トルクスネジをヒートシンクから4本外します。

i これらのネジは2本のバネ付きヒートシンク用ブラケットを固定しています。このブラケットはヒートシンクとCPUを固定しています。1番目のネジを取り外すと、ブラケットが飛び出すことがあります。

- ヒートシンクブラケットを取り出します。

手順 46



- ヒートシンクを取り出します。
- 再組立ての際、CPUとヒートシンクを綺麗に拭き取ってから放熱グリスをCPUに付着してください。[このガイド](#)を参照してください。

デバイスを再組立てする際は、これらの手順を逆の順番に従って作業を進めてください。

© iFixit — 2022-07-02 01:03:35 AM (MST)

